

2014年4月4日

H26年度 新2年生/編入生
Eコース ガイダンス



桐生キャンパスでの教育 私感

「東洋の道徳、西洋の芸」
(佐久間象山)

群馬大学 理工学府 電子情報部門
部門長 小林春夫

大学で身につけること

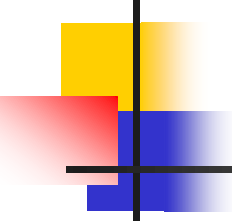
- 自分で習得する -

知識: 深い専門知識、広い一般教養

良識: 倫理、人格、品格、修養

見識: 先見性、創造力、ビジョン、
リーダーシップ、
夢、志、よい技術を見抜く力

大学教員は学生に対し、
advisorの立場 (supervisor ではない)



良識、見識を磨くには 一つには...

渋沢栄一、松下幸之助、本田宗一郎
盛田昭夫、Peter F. Drucker, Steve Jobs
孫子、論語、歴史書 等
自分にあっているものを読む。

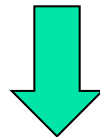
ピンとくるものは、
自分の年齢とともに変わってくる。



松下幸之助氏から学ぶ

「コストが安いからという理由で
海外に進出したことはない。
その国の人のためになると思い
海外に出た。」

海外からの人を受け入れるのも同様であろう。



「義を先にして利を後にする者は栄える。」

(荀子)



本田宗一郎氏から学ぶ

製造業の原点

「人の役に立ちたい。

使って便利で楽しいものを提供したい。」

物造りの原点

「人の心を知ることは、

ものを造る根源である。」



渋沢栄一氏から学ぶ

「商業と道德とは、油と水のごとく
相和せぬように思うのはあやまりである。
いかに智識が発達し富が増進しても、
道德を欠いては、決して世の中に立って
大いに力を伸ばすことはできない。」

士魂商才



大学教育に2つの要素が必要

「東洋の道徳、西洋の芸」

（佐久間象山、江戸時代後期の思想家）

「西洋の芸」は議論されてきている。

今、必要求められているのは「東洋の道徳」。



西洋の芸

役に立つ**知識**を得る。

科学、工学、医学、経営学、語学、。。。。

近年では

産学連携、インターンシップ、国際交流、
実践的教育、語学研修、技術経営。。。。

職を得る、自立するために有用



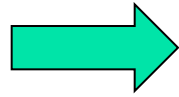
東洋の道徳

良識、見識

人間修養、帝王学。。

幕末、明治維新期の日本人、
英語ができなくても先端技術がなくても
海外の人たちの尊敬を集めた。

江戸時代までの教育



人間修養中心

「少にして学べば壮にして為すあり。
壮にして学べば老いて衰えず。
老いて学べば死して朽ちず。」

江戸後期の儒学者・佐藤一斎(1772～1859)
「言志晩録」第60条

学問への自戒

足代弘訓 あじろ ひろのり 江戸時代国学者

人をあざむくために学問をしない。

人とあらそうために学問をしない。

人をそしるために学問をしない。

人の邪魔をするために学問しない。

人を馬鹿にするために学問をしない。

自分を自慢をするために学問をしない。

名を売るために学問をしない。

利をむさぼるために学問をしない。

学問で自分を高める



松下村塾

「およそ学をなすの要は己が為にするあり。
己が為にするは君子の学なり。
人の為にするは小人の学なり。」

(吉田松陰)

学問は自分を高めるためにする。
人に認められる(地位、名声を得る)ためではない。